

プロジェクト報告書

団体名 市民活動支援のためのミニコミ資料室をつくる会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書（精算報告書以外）は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真（2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します）を添付して下さい。

1. プロジェクト名

『市民活動は元気のもと！多摩のミニコミ 200 誌』（仮題）の作成と「ミニコミ広場」の整備

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

市民活動から生み出された資料は、活動の経験として、また歴史資料として、市民活動の力量形成に資すると同時に、新しい社会を拓くための研究等、大きな価値を持っています。多摩地域では都立多摩社会教育会館が30年間市民活動資料を収集・公開してきましたが、資料室が廃止されたため、市民の手で資料室・センターを作る取り組みが始まりました。また当会を中心に新たな資料収集活動も7年目に入り、その試行的公開の場「ミニコミ広場」は4年たちました。そこで、集まってきたミニコミの紹介冊子をつくることにより、多くの人にその魅力を知らせ、また資料室づくりのPRにしたいと考え、2008年度から発行に取り組みました。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

- ①「ミニコミ広場」の週1回定例開室を維持できました。
- ②収集資料が増え、書架9連に満杯となり利用しづらくなっていましたが、理解者の協力により少し広い場所に移転し、より利用しやすいよう整備することができました。
- ③前年度から取り組んでいる『多摩のミニコミ 200 誌』作成のため、掲載ミニコミを抽出し、約200の発行団体（個人も）に掲載情報確認のための文書を送付しました。
- ④その返信と各ミニコミ自体の情報により一誌ずつ表紙イメージを入れた原稿を作成し、編集、レイアウト、印刷製本を行い、『市民メディア・ミニコミ—多摩からの200誌—』として発行しました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

- ①「ミニコミ広場」を毎週月曜日に必ず開くことに努力し、年末年始等を除き予定どおり休まず開室しました。
- ②ミニコミを収集・公開していくことの重要性を広くPRし、「ミニコミ広場」の充実に努力したおかげで、理解・協力者に出会うことができ、より広く、環境の適した場所へ移転することができました。
- ③ミニコミ紹介冊子の内容は、ミニコミの外面的な情報に止まらないよう掲載事項に工夫した結果、それぞれの発行団体・個人の日頃の活動や思いが紙面に表現され、よりミニコミの面白さが伝わる本になりました。
- ④デザイン等にも工夫しましたので、より多くの方の手に取っていただけたと思います。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

活動7年目に入り、独立したスペースを維持し、試行的公開スペースとして整備することも軌道に乗ってきました。資料もたくさん集まるようになってきましたが、継続的に送付していただくための団体への働きかけや、収集したミニコミをより早く公開していく体制づくりなど、新たな課題を感じます。

『市民メディア・ミニコミ—多摩からの200誌—』作成については、ミニコミ数が多いため掲載団体への確認と原稿作成が予想外に手間取りました。また資金の関係で、編集やレイアウトをプロに依頼できませんでしたが、団体とボランティアの協力により、ミニコミの魅力を十分伝えられる本ができました。ぜひ多くの方に見ていただきたいと思います。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

○参考資料あり ・ 特になし



『市民メディア・ミニコミⅡ—多摩からの200誌—』出来上がりました！



こんなにいろいろのミニコミが集まっています。



新しくなったミニコミ広場の窓辺風景



整備中の新ミニコミ広場。6月中旬から再開します。